



MEMBER & EVENT

〈堀川まちづくりの会〉会員・イベント紹介 2019

黒川地区

2019年3月30日
黒川友禅流し 場所／辻栄橋（北区）
団体／北区まちづくり推進協議会（●黒川ドリム会等）

四問道地区

2019年3月30日・31日
クラブ円頓寺
場所／円頓寺商店街
団体／●円頓寺商店街振興組合

2019年4月29日
エコでジャズな円頓寺音楽祭（仮）
所／円頓寺商店街
団体／●円頓寺商店街振興組合

2019年7月下旬予定
第64回円頓寺七夕まつり
場所／円頓寺商店街・円頓寺本町商店街
団体／●円頓寺商店街振興組合

2019年11月予定
円頓寺秋のバリ祭2019
場所／円頓寺商店街
団体／●円頓寺商店街振興組合

その他



2019年 春4月20日・秋9月21日
クリーン堀川ー斉大そうじ
場所／北清水親水広場（黒川地区）、
納屋橋周辺（納屋橋地区）、宮の渡し公園（熱田地区）
団体／クリーン堀川（●●●●）

2019年5月11日～25日
第10回堀川ー斉調査 場所／堀川沿川
団体／●堀川1000人調査隊2010実行委員会

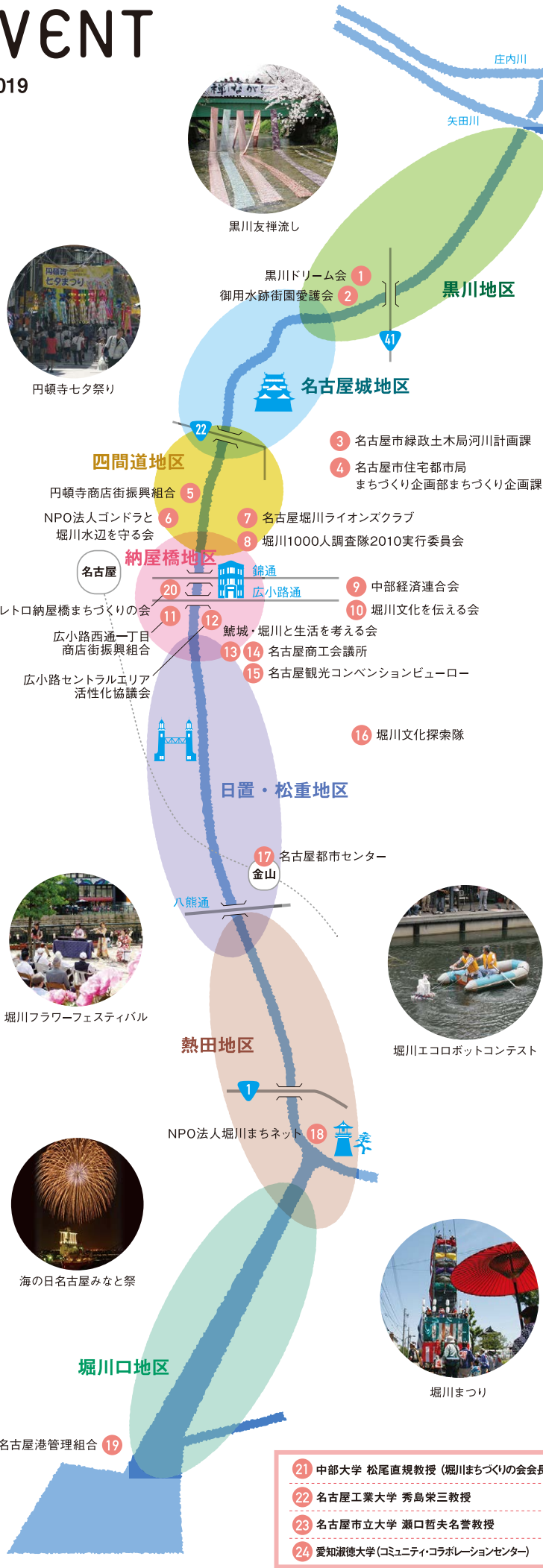
2019年6月1日・2日
堀川まつり 場所／宮の渡し公園
団体／●NPO法人堀川まちネット

2019年6月2日
第61回水フェスタ ブース出展
場所／鍋屋上野浄水場
団体／●堀川1000人調査隊2010実行委員会
●鯉城・堀川と生活を考える会

2019年6月29日
環境デーなごや 堀川クルーズ
場所／白鳥～納屋橋、白鳥～名古屋港
団体／●名古屋堀川ライオンズクラブ

2019年9月28日
第25回調査隊報告会 場所／名古屋都市センター
団体／●堀川1000人調査隊2010実行委員会

堀川まちづくりの会 広報イベント
◆2019年8月（イオンモール熱田）
◆2019年10月（東山動植物園）
◆2020年2月4日～9日（市民ギャラリー栄）
◆2020年2月26日～3月9日（名古屋都市センター）



納屋橋地区

2019年5月10日～25日
堀川フラワーフェスティバル
場所／納屋橋周辺
団体／堀川フラワーフェスティバル実行委員会
（●●●●●●●●●●等）



フラワーフェスティバル内イベント

◆4月11日～15日
ハンギングバスケット作成会
団体／●名古屋市長政土木局河川計画課

◆5月10日
開会式&レトロ納屋橋 Gondola ウエディング
団体／●NPO法人 Gondola と堀川水辺を守る会

◆5月11日
愛知淑徳大学 Day
団体／●愛知淑徳大学 コミュニティコラボレーションセンター

◆5月18日
堀川水質検査デモ
団体／●鯉城・堀川と生活を考える会

◆4月27日・28日、5月11日・12日・18日・19日・25日
Gondola 体験乗船
団体／●NPO法人 Gondola と堀川水辺を守る会
※Gondola 体験乗船は3月～11月の毎月最終土曜日曜にも開催しています。

◆2019年5月14日～26日
「紙芝居で楽しもう堀川」展
場所／堀川ギャラリー 団体／●堀川文化を伝える会

2019年8月25日
第15回堀川エコロボットコンテスト
場所／納屋橋
団体／●名古屋堀川ライオンズクラブ、●名古屋工業大学

2019年10月（予定）
堀川ウォーターマジックフェスティバル
場所／納屋橋周辺
団体／堀川ウォーターマジックフェスティバル
実行委員会（●●●●●●●●等）



熱田地区

2019年11月23日・24日
東海道七里の渡し船旅学習会
場所／熱田「宮の渡し」ー桑名「七里の渡し」
団体／●NPO法人堀川まちネット

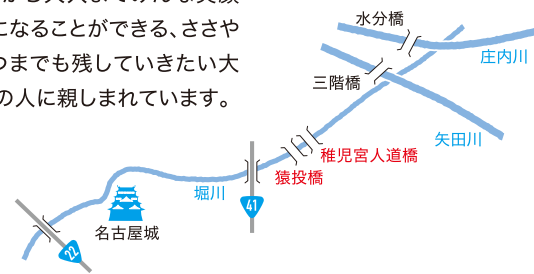
堀川口地区

2019年7月15日
第73回海の日名古屋みなと祭
場所／名古屋港ガーデンふ頭一帯
団体／主催：海の日名古屋みなと祭協賛会
事務局：●名古屋港管理組合

- 21 中部大学 松尾直規教授（堀川まちづくりの会会長）
- 22 名古屋工業大学 秀島栄三教授
- 23 名古屋市立大学 瀬口哲夫名誉教授
- 24 愛知淑徳大学（コミュニティ・コラボレーションセンター）

表紙写真 黒川の川遊び

黒川と呼ばれる堀川上流部では、春の川沿いを彩る桜並木が有名ですが、猿投橋（北区）より上流部では、また別の姿をみることができます。ここでは毎年春から秋にかけて、地域のボランティアの方々などによって子どもたちの川遊びや生き物調査が行われています。稚児宮人道橋に設置された親水護岸からひとたび川の中に入ると、名古屋の市街地だとは信じられないほど豊かな自然に囲まれた世界が広がります。子どもから大人までみんな笑顔で魚や虫取りに夢中になることができる、ささやかな都会の宝物。いつまでも残していきたい大切な場所として、多くの人に親しまれています。



【堀川に行ってみよう！】
愛知淑徳大学 学生が「堀川文化探索隊」をレポート！

【ほりかわこぼなし】
白鳥貯木場



公式サイト
horimachi.jp



活動日記ブログ
horimachi.blog.fc2.com



フェイスブック
www.facebook.com/horimachi

堀川の今、そして未来、歴史など、
堀川のイロイロや、アレコレなど、
「ともかく堀川を知っておきたい」
という方は、
一度アクセスしてみてください。



堀川まちづくりの会 | 検索



堀川に行ってみよう！

＼ 愛知淑徳大学 学生レポート ＼

楽しい参加者のみなさんと一緒に、 堀川の素敵な風情や 歴史を感じることができました。

「堀川まちづくりの会」の会員である「堀川文化探索隊」は、堀川や堀川周辺地域の歴史に触れながら町歩きを行う、例会を毎月1回開催しています。

今回は、前回同様に人間情報学部3年生の鈴木菜由子さんと深津あづ美さんに、町歩きに参加してもらい、堀川文化探索隊の活動について取材しました♪

堀川文化探索隊 × 愛知淑徳大学

定例会の情報はココをチェック！

堀川文化探索隊公式ページ

<http://www.arm-p.co.jp/horikawa-bunka/index.html>

学生：はじめに堀川文化探索隊が行っていることをお聞きしてもよいでしょうか？

伊藤さん：月一回（毎月第3土曜日）、堀川あるいは周辺地域の神社仏閣や産業遺産などを巡りながら、堀川の歴史を伝える町歩きをしています。かれこれ、18年続いていますね。

学生：毎回、何人が参加されますか？

伊藤さん：25～30人が参加しておりますが、会員制ではないので、毎回同じ人が来ているわけでもありません。10年以上来ている人もいれば、ここ数年でハマった人、1年ぶりに来た人、初めて参加した人など様々ですよ。年齢層は、60代から80代の方が多いと思います。

学生：自由に参加できるのが、長年続いている理由ではないでしょうか。

伊藤さん：そうですね。宣伝は特にしておりませんが、メンバー入れ替わりの新陳代謝が非常に良く、人と人とのつ



ながりで新しい人が来てくれます。だから、私も来てくださる人は10名程しか名前を知っている方がおりません。

学生：2時間の町歩きだから、運動にも丁度良さそうですね。コースは伊藤さんが決めているのですか？

伊藤さん：私が決めていますよ。最初は堀川周辺を歩いていましたが、内容が同じになってしまいそうでしたので、2年程かけて名古屋港まで歩き、その後、北区、西区、中村区を5年程かけて巡り、また堀川へ戻ってきました。何年かすると、メンバーが半分程入れ替わるので、違う場所を巡って堀川へ戻りを繰り返して、飽きないように工夫しています。



学生：他の会に属されている方もいらっしゃるますか？

伊藤さん：兄弟会の堀川文化を伝える会に所属している方がいますし、堀川が隣に流れる円頓寺を案内している方、熱田区で町歩きをしている方など、知識を増やして自分の活動に活かしている方もいますよ。

今回のルートと
テーマはこんな感じでした

14:00

地下鉄黒川駅 集合
犬山から舟が来た「北清水親水広場」
稲置街道と交差する「黒川橋」
乗合馬車が走る「黒川岸 犬山街道」
子どもの守神「児子八幡社」
志賀の源吉「安栄寺」
市街化に備え黒川を改修「猿投橋の落差工」
御用水沿いの染色産業「黒川」

16:00

瑠璃光橋 解散



深津あづ美さん

伊藤正博さん

鈴木菜由子さん

堀川文化探索隊の ココがすごい！

01 毎回作成される 内容の濃い資料がすごい

今回の資料は昔の貴重な資料や当時の生活の様子、成り立ちが7ページにもわたってびっしりと書かれていて、文化を大切にしたいという思いが詰まっていました。これだけ内容の濃い資料が181回分もあるということは本当にすごい！



今回の資料の一部(猿投橋下流の大幸川と黒川の合流部は昭和6年の写真が掲載されていて当時の様子と比較して見る事ができました)



02 メンバーの皆さんの豊富な知識がすごい

案内役の伊藤さんのほかにも名古屋の歴史文化をテーマに活動する他団体の方や、仕事上でいろいろ詳しくなった方など、様々な方がメンバーなので話に厚みがあり、普段何気なく通りすぎるような場所にも「へー」「なるほど」という気づいてしまう知識がすごい！



雑誌のコラムのように、ときおり伊藤さんに代わって豆知識を紹介してくれる川角さん(指をさしている人が川角さん)



分からない言葉をやさしく教えてくれた辻さんは兄弟会の堀川文化を伝える会の会長でもあるんです

03 お互いのことをあまり知らない気軽さがすごい！

特に勧誘をするわけでもなく、友人の紹介や伊藤さんの講演などをきっかけに会に参加するようになった方がほとんどで、お互いに名前も知らないような間柄でも、みなさんそれぞれ自分のペースで楽しむことができる気軽さがすごい！



ほりかわこぼなし 白鳥貯木場

監修：堀川文化探索隊、堀川文化を伝える会



白鳥貯木場(昭和45年・1970 南からの眺望)(中部森林管理局)

熱田区の白鳥には大きな貯木場があり、名古屋は木曾ヒノキの集散地として有名でした。元和元年(1615)に木曾が尾張藩の領地になると、山で切られた木は木曾川を下り、筏に組まれて伊勢湾を横切って熱田に運ばれてきました。堀川の河口だった白鳥に材木場(貯木場)が設けられると、材木奉行が置かれて、木の保管や商人への販売が行われました。材木場は、当初堀川の東岸にありましたが、その後何度も拡張され、江戸時代の終わりに堀川両岸の約79,000㎡にたくさんの木材が保管されていました。

明治10年(1877)に国の管理になり、さらに貯木場も整備され、明治40年(1907)に名古屋港が開港場になると海外からも多くの木材が輸入されてきました。大正5年(1916)には、中央線などの鉄道で運ばれた木材を積みおろす白鳥駅も造られ、大正10年(1921)には、面積が188,000㎡になりました。白鳥貯木場のほか港周辺には多くの貯木場がありましたが、輸入木材の増加や伊勢湾台風により流出した木材が大きな被害を起こしたことで、昭和43年(1968)に完成した西部木材港への移転が進められ貯木場は無くなりました。昭和54年(1979)名古屋市に土地が売られ、今は埋立てられて白鳥公園などになりました。



白鳥庭園(全景 北からの眺望)

貯木場南部の跡地に築造された白鳥庭園は、築山を御嶽山に、せせらぎと池を木曾川にと伊勢湾に見立てた造りになっています。